

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	炎症性神経筋疾患の診断・病態・病勢評価に役立つマーカーの検索			
② 研究期間	倫理審査委員会承認から2028年3月31日			
③ 対象患者	対象期間中に当科に受診された自己免疫性神経筋疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎、急性散在性脳脊髄炎、抗MOG抗体関連疾患、自己免疫性脳炎、自己免疫性末梢神経障害、自己免疫性筋炎、重症筋無力症）と診断もしくは疑われた患者。			
④ 対象期間	1991年1月1日から2028年10月31日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学附属病院脳神経内科			
⑥ 研究責任者	氏名	桐山 敬生	所属	脳神経内科
⑦ 使用する資料・情報等	患者さんの性別、年齢、病気を患っている期間、重症度、血液・画像・電気生理・病理所見、治療内容などの情報をカルテ記録から用いてその意義を解析します。また、通常の診療で得られた血液や髄液などの残余検体を研究のために一部凍結保存し、病態や病勢に役立つ情報の解析、将来の新規知見が得られた際の新たな解析に用います。			
⑧ 研究の概要	炎症性神経筋疾患は、脳や脊髄、末梢神経、筋肉が自己免疫や感染に伴って障害され、筋力低下、感覚障害、認知機能低下などを生じる疾患です。治療法は免疫を抑制する治療、細菌やウイルスなどに対する治療薬が用いられます。いったん障害されると回復が難しくなることもあり、国の難病指定されている疾患が多く、発症メカニズムの同定や根治療法は十分に確立されていないものが多くあります。本研究では、炎症性の神経筋疾患患者さんの臨床情報（性別、年齢、病気を患っている期間、重症度、血液・画像・電気生理・凍結保存された血液、髄液、病理組織から得られた所見、治療内容）をカルテから収集し、それぞれの因子の関連性を解析し、病態解明を目指します。血液検査から免疫学的な解析を行い、病気の発症機序、病態、いつ悪化するのかなどの病勢を把握できる因子を解析します。また適切な治療につながる所見を解析します。当科でできない特別な抗体や検			

	査のために、他の研究機関で検査が必要な場合は個人情報が出漏れないようにし検査を依頼することがあります。	
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年 10月 日
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧します。詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。	
⑪ 結果の公表	学会や論文、教育目的の出版物等で公表することがあります。その場合、個人が特定される情報は公開しません。	
⑫ 個人情報の取扱い	本研究に役立てる際には個人情報は研究責任者において、外部に漏れないように厳重に管理されます。他施設や外部者に個人情報が漏れることはありません。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。	
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 脳神経内科 担当者：桐山敬生 電話：0744-22-3051（内線：3417） FAX：0744-24-6065 Mail：kiri*naramed-u.ac.jp *は@に変換してください	